

日本気象協会 気象予報士 110名に調査を実施 2022年の「今年の天気を表す漢字」は「暑」に決定

一般財団法人 日本気象協会(本社:東京都豊島区、理事長:長田 太、以下「日本気象協会」)は、日本気象協会に所属する気象予報士のうち110名の調査をもとに決定した「今年の天気を表す漢字」を、2022年12月9日(金)に発表します。



気象神社宮司 松井美加子さん

■2022年の「今年の天気を表す漢字」第1位は「暑」

日本気象協会に所属する気象予報士のうち110名に調査を行った結果、「暑」が1位に選ばれました。

2022年の夏は、6月としては観測史上初の40℃越えの気温が観測されたり、九州北部から関東甲信にかけて6月中に梅雨明けが発表される(※速報値。のちに見直し)など、異例の幕開けとなりました。西日本では6月から8月にかけての気温が、1946年の統計開始以来、1位タイの高温を記録しました。東京都心でも、これまで最多だった年間猛暑日数13日(1995年、2010年)を上回る16日間の猛暑日を記録しました。

■2022年の「今年の天気を表す漢字」TOP5

異例の「梅」雨明け(速報値)で始まった今年の夏を象徴する「暑」「酷」、気象庁が2022年から予測を開始したことに伴い耳にする機会が増えた「線」状降水帯、そして安土桃山時代以来となる442年ぶりの天体ショー(皆既月食+惑星食)が好条件で観測できると話題になった「月」がそれぞれランクインしました。

<TOP5 と選考した気象予報士のコメント（※調査結果より一部抜粋）>

1位 「暑」

「東京都心で猛暑日数最多を記録したのが印象的」

2位 「線」

「線状降水帯による、記録的な大雨。8月、新潟県下関で 149mm/h は印象に残っている」

3位 「酷」

「酷暑という言葉ができてしまうほど、これまでの常識が通用しない極端な気象現象が多くなった」

4位 「月」

「442年ぶりの皆既月食と惑星食、さらに次回は322年後というのはインパクトが大きかった」

5位 「梅」

「確定値で訂正されたが、速報値での梅雨明けの早さが印象的」



「今年の天気を表す漢字」は今年で発表 10 周年を迎えます。今回選ばれた漢字も日本に唯一という「気象」の神社『気象神社（東京高円寺にある氷川神社境内）』にて、宮司の松井美加子さんに揮毫いただきました。各漢字の選考理由や、『お天気総決算』の調査と発表が始まって 10 年間に選ばれた漢字との比較など、詳細は[「2022 年お天気総決算～tenki.jp ラボ Vol.23～」](#)をご覧ください。

■「tenki.jp ラボ」に関して

「tenki.jp ラボ」では、より天気に興味を持っていただくことを目的として、天気に関わる情報と意識調査や気象予報士の知恵、時節に関わる見解や情報発信を行っており、今回で 23 回目の発表となります。また、「tenki.jp ラボ」による『お天気総決算』の調査と発表は 2013 年からスタートし、今年で 10 年目になります。

 tenki.jp ラボ URL : <https://tenki.jp/suppl/entries/8/> (PC/スマホ対応)

調査概要

【調査対象】 日本気象協会所属の気象予報士 110 名

【調査方法】 インターネット調査

【調査期間】 2022 年 11 月 17 日(木)～11 月 24 日(木)



tenki.jp ラボ



■天気予報専門メディア「tenki.jp(てんきじえーびー)」 <https://tenki.jp>

日本気象協会が発表する気象情報を、Web サイト／スマートフォンアプリで無料提供している天気予報専門メディアです。年間ページビュー数は 56 億 PV(Web ページ・スマートフォンアプリ合算での推定)。生活に欠かせない天気予報に加え、専門的な気象情報、地震・津波などの防災情報も確認できます。気象予報士が日々提供する「気象予報士のポイント解説(日直予報士)」も人気コンテンツです。

- ・「tenki.jp」は、日本気象協会と ALiNK インターネットの共同運営です。
- ・「tenki.jp」は、一般財団法人 日本気象協会の登録商標(登録第 6129427 号)です。
- ・「tenki.jp」ロゴマークは、一般財団法人 日本気象協会と株式会社 ALiNK インターネットの登録商標(登録第 5763293 号)です。

本情報を使用される際は、クレジット(「tenki.jp ラボ」調べ)と
サイトリンク(<https://tenki.jp>)を両方記載してください。